

施設長	主任	担当	

目 標	こども園と子育て支援センター(拠点)事業が共同で、地域に開かれた学校及び社会福祉施設として、子育ての知識や経験、技術を提供しながら子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を図る。
-----	---

活動項目	活動名	ねらい	活動内容	実施詳細	
交流の場の提供	●子育てサークルの開催	①親子あそびサークル	“○保護者支援をしながら仲間づくりを進め、サークルとして活動できるよう支援する。 ○保育教諭等により、親子あそびなどの行事を通して体を動かしながら親子また他の保護者とも交流を深める。”	“○保護者支援をしながら、仲間づくりやサークルとしての活動ができるように支援していく。 ○グループをつくり、保護者主導で活動ができるように支援する。”	①月2回行っている。
	★こども園体験入園		“○地域の親子と交流を深める。 ○こども園の施設や遊びを体験してもらう。”	“○親子でこども園の生活を楽しむ中で行動見本を掲示し、親子の関係を支援していく。 ○園での生活を知らせることで、今後の子育ての参考になるように支援していく。”	“○平日の午前中など子育て中の保護者を中心に、家庭では味わえない場所、遊具などで遊ぶことができる。 ○入園などの相談を受ける(入園の時期、方法など)。”
	★おでかけ保育	①園外探検保育	“○地域の親子と交流を深める。 ○いろいろな遊びや体験を提供する。”	“○職員が様々な情報収集に努め(保護者からの情報を含め)簡単な遊びを保護者や子どもに伝えたり、育児相談及び子育て支援の後方に努める。”	○大型紙芝居を持って行ったり、こども園ならではの移動可能な遊具を持参して、遊びを提供する。 ○園内では出来ない体験を提供する。
相談援助の実施	●育児相談	①電話相談 ②来所相談	○相談者の話を傾聴した上で、保育教諭、専門スタッフによる育児に関する知識や技術を提供する。また、場合によっては専門機関につなげる。	○保育教諭、看護師等こども園の専門スタッフにより、育児、健康、食育に関する知識や技術を提供する。	○月曜日～金曜日 9:00～17:00(随時受け付け)
	●子育て情報誌の発行	①「支援センターだより」	○サークルや市役所、図書館の掲載等を通して情報を提供、広報活動を推進する。	○自園の子育てサークルの案内などの情報を発信する。	○月1回「支援センターだより」を発行し、保健センター、子育て支援センター、図書館、支所などに置かせてもらう。
●他機関との交流	①連携こども園定例会 ②私立保育園等連絡協議会 ③市保健師との情報交換	○地域の関係機関、他園との交流を通し情報交換を行う。	○年1回子育て支援センター主催で、阿賀野市私立合同で活動内容の報告会を行う。	①連携施設と地域の親子を対象にイベントの開催について検討会議を行う。 ②各園での活動内容の報告会や情報交換会を年1回開催する。	
一時保育	◎活動種類 ① 緊急保育(月5日間) ② 私的理由保育(月5日間) ③ 住民票がない場合の保育(主に里帰り出産/月5日間) *ただし、祖父母等の住民票が市内にあること。	“◎実施詳細(受け入れ) ・事前に電話予約(キャンセルも電話で) ・月曜日～金曜日 8:30～16:30(随時受け付け)”	“◎活動内容 ・在園児と共にいろいろな遊びを経験する。 ・保育教諭等の誘いに応じて、集団生活に慣れ、生活習慣を少しずつ身に付けていく。”	“◎受け入れ時の配慮 ・保護者が安心して利用できるように、丁寧な対応を心掛ける。 ・食事(アレルギーの有無)、睡眠、排泄、癖、好きな遊びを確認する。 ・個々に合った活動を進めていく。 ・保育中の発熱などに対応できるよう、必ず複数の連絡先を確認する。 ・降園時は、一日の様子を連絡カードなどでできる限り伝える。”	
備考	●子育て支援 ★子育ての支援				
評価と反省	年度初めは継続利用者が多かったが、地区担当の保健師さんの声掛けもあり、赤ちゃんの新規利用が増えてきた。ベビーマッサージを通して、ママ同士の繋がりができ和やかな雰囲気での支援センターだった。外部講師のイベントも数年同じ講師を使っていたが、塚野氏のイベントについては継続しない。他のイベントについては参加者も多かったため継続していく。支援センター独自のイベントについては、利用年齢に差があり内容の組立てに苦労したが、少しでも楽しんでもらえるよう次年度も計画をしていきたい。月1回の手形・発育測定については、隔月地区担当の保健師さんが来ることで、情報交換の場となりとてもよかった。いろいろな専門機関と連携を取りながら、親子にとってより良い支援センターであるよう努めていきたい。また昨年同様、核家族が増えてきているため相談しやすい雰囲気づくりも心がけていきたい。				